

大名美恵子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
 電話・FAX 029-284-0761
 E-mail toukai@oona-mieko.info

間もなく稼働 40 年の東海第二原発

11月30日告示 12月9日投票の茨城県議選（東海村選挙区は定数1）に出馬表明の**新人2人の政策から**・・・

東海第二原発は東海村に立地していますが、今では「首都圏の原発」と言われています。原子力発電所で事故が起きた場合の住民の避難区域、30キロ圏内に約96万人がくらし、首都東京（駅）



までの距離わずか110kmと近く、世界でも類を見ない立地環境のためです。「40年を超えて運転すべきでない」という声は、首都圏でも大変多く、各地で学習会や集会が開かれています。

全村がほぼ5キロ圏内に入る東海村は、発電所敷地と住民の生活スペースは国道1本隔てていただけです。こうした中で、運転期限原則40年を超えて運転することの危険性は大変大きく、本来、政治の責任で廃炉にすべきです。

今年7月に閣議決定された国の新しいエネルギー基本計画では、東海第二も含めすべての原発を動かす計画となっています。

新規規制基準は、もともと稼働させるための基準であり、安全を保障する基準とは言えないだけでなく、何より、事故時爆発を回避するために放射能を大気へ放出することを合法化したものです。技術の到達がこうした現状では、絶対に動かすべきではありません。

橋本しげお氏

村内にタウンプラスも使って無差別配布の後援会資料を見させていただきました。

橋本しげお氏の「ごあいさつ」では、「銀行勤務と経営者の経験を生かして、東海村と県政の課題解決に向けて努力いたします」とあります。行政を民間企業感覚で評価し変えようとしていると受け取れますが、これは、安倍政治そのもので、国民を苦しめ、怒らせている根源の考え方です。

また、「村と県の発展のために！」の中で書かれた、「行財政改革の推進」や「市町村への権限移譲を推進」も同様で、今の安倍政治はむしろ「地方壊し」であり、市町村行政を困らせてばかりです。政治姿勢としては問題大です。

「原子力の安全確保と人材の育成を推進」との記述があり、「原発推進」とは書いていませんが、安全を確保して推進であるとの考え方が読み取れます。現職議員と同じく安倍政治のままに推進と、なぜ明確にしないのでしょうか。

川崎あつ子氏

村内に現在配布されている茨城県放号外中の川崎氏のあいさつでは、「運転開始40年、老朽化した東海第二原発の運転延長・再稼働はとんでもありません」「命よりたいせつなものはありません。子どもや孫たちに『原発ゼロの日本』のバトンを渡すのは私たち大人の責任です」「再生可能エネルギーへの転換で新しい産業も生まれます」とあります。過半数県民が求める「絶対安全とは言えず大きな危険を抱えた原発との決別」姿勢が明確です。

また具体的施策の記述では、「茨城の財政力は全国9位なのに、医療・福祉は最低クラス」と見極め、「国保・介護の負担軽減」や「県水道料金を引き下げ」「最低賃金引下げ」等々、くらし応援の姿勢が明確です。国政でも県政でも村政でも住民の命の安全、暮らしの安心の保障が最優先です。東海第二は再稼働NOが大争点です。